

熊本市上下水道局指定管理者候補者選定委員会  
会議録

1 会議名称

熊本市上下水道局指定管理者候補者選定委員会

2 会議概要

(1)開催日時

平成 29 年 11 月 6 日(月) 午後 2 時～午後 3 時

(2)開催場所

熊本市上下水道局本館6階 中会議室

(3)出席者氏名

会長	田川 浩	熊本市上下水道局技監
委員	中村 靖生	熊本県中小企業診断士協会 代表理事
委員	桂 ありさ	熊本市 PTA 協議会 常任理事
委員	皆川 朋子	熊本大学大学院先端科学研究部 准教授
委員	米村 和哉	熊本市上下水道局総務部長
委員	上村 博之	熊本市上下水道局計画整備部長
委員	坂田 憲盟	熊本市上下水道局維持管理部長

(4)配布資料

- ・委嘱状
  - ・次第、委員名簿、熊本市上下水道局指定管理者候補者選定委員会運営要綱
- 【事前送付資料】
- ・募集要項
  - ・仕様書
  - ・申請関係書類
  - ・項目評価表
  - ・評価基準
  - ・評価要領

(5)対象施設

熊本市水の科学館

(6)次第

- ・開 会
- ・選定方法について事務局説明
- ・議事  
資格審査  
項目審査(プレゼンテーション、質疑応答)  
採点  
集計結果発表及び選定
- ・結果の公表、正式な決定について事務局説明
- ・閉 会

3 議題及びその内容

熊本市水の科学館(熊本市北区八景水谷一丁目 11 番 1 号)における平成 30 年 4 月 1 日から平成 35 年 3 月 31 日までの 5 年間の指定管理者候補者選定について、熊本市水の科学館条例及び熊本市上下水道局指定管理者候補者選定委員会運営要綱に基づき選定する。

申請者が提出した申請関係書類の審査を行い、評価基準に基づき、総合評価方式で得られた数値を基に候補者として選定する。

#### 4 審議経過

##### (1) 概要説明(経営企画課長)

###### ・資格審査について

申請資格(暴力団照会及び滞納有無等 10 項目)の審査の結果 合格

###### ・項目審査について

価格審査の結果 合格

###### ・評価方法について

##### (2) プレゼンテーション

申請者:(公財)熊本市上下水道サービス公社

##### (3) 質疑応答

委員「来館者は例年、夏に偏っている。寒くなってからの来館者を増やす取組みについて、何か考えているか。」

申請者「市内の小学校の環境学習だけでなく、市外、県外からの団体見学を増やすことを考えている。また、イベントを毎週開催する事によって、年間を通して安定した集客を目指す。」

委員「サービス介助士を新たに設置するとあるが、もう既に講習を受け、サービス介助士になられた職員はいるのか。」

申請者「現在資格を取得している職員が1名おり、その職員からのフィードバックも実施している。今後も随時資格取得者を増やしていく予定である。」

委員「海外からの来館者については外国語のパンフレットのみで対応できるのか。」

申請者「海外からの来館者は通訳を伴った方が多いため、現状では対応できている。」

委員「展示物についてはどうか。パネル等もそういった配慮はされているか。」

申請者「展示については対応できていないので、検討したい。」

委員「他施設、美術館・博物館との連携したイベントという提案があるが、これまでは無かったのか。」

申請者「以前、美術館・博物館と水の科学館を巡るバスツアーを実施したことがあるので、今回も他の施設と相談しながら実施したい。」

委員「今回、具体的な計画は既にされているか。」

申請者「現段階では具体的な計画はない。」

委員「以前、公共交通機関を用いて川尻方面の施設等と科学館を巡るイベントがあったと記憶しているが、そういったものはないか。」

申請者「今年度には、科学館近くの水道施設へ歩いて巡るイベントは実施している。」

委員「中池・外池の安全管理について、外池は構造上事務室から見えない場所にあるが、巡回等を実施するのか。」

申請者「現在も定期的な巡回を実施して対応している。」

委員「来館者目標として単年度に 120,000 人としているが目安がよく分からない。現状はどのように推移しているのか。」

申請者「平成 25 年度から指定管理を実施し、25 年度に 11 万 2 千人、26 年度に 11 万 1 千人と推移し、27 年度には 12 万 1 千人に達している。28 年度は地震による閉館期間があり、9 万 5 千人だったが、今年度は 10 月末現在で、80,982 名となっている。」

委員「提案の中にスタンプラリー、スタンプカードとあるが、これはどういうものか。」

申請者「スタンプラリーについては、館内に隠されたスタンプを探しながら水について学習するための工夫であり、子供の来館者はスタンプラリーに一生懸命取り組んでいる。スタンプカードは来館ごとに 1 つスタンプし、20 個揃うとサイコロを振って記念品を提供するといった取組みである。これは外部の方から科学館を活性化させる取組みとして提案されて始めたものであり、好評であったため今後さらに発展させていこうと考えている。」

委員「リピーターを増加させる取組みとして、記憶に残るイベントとあるがこれはどういうものか。」

申請者「田植え・稲刈り等の体験するイベントを想定している。今後はこういった体験型のイベントを多く実施していきたい。」

委員「研修ホールの稼働率はどの程度か。」

申請者「団体見学の際の啓発 DVD 鑑賞及び職員が説明を実施する場として必ず活用している。ただし、併設された図書コーナーの稼働率が良くないため、新刊の導入や、展示コーナーへ部分的に移設する等の取組みを実施している。」

委員「研修ホールの一般利用は可能なのか。」

申請者「可能である。例としては、毎年科学館周辺で他団体主催の田植え体験が実施される際に研修ホールの利用申請があるため、利用を許可するとともに、科学館での啓発 DVD の鑑賞等、水に関する学習をイベントに盛り込んでいただくようにしている。」

委員「水の科学館のメールマガジンを新たに創設とあるが、登録の啓発をどのように実施するか。」

申請者「来館者に配布するパンフレットに QR コードを記載し、そこから登録してもらおう等の計画を考えている。」

委員「今現在の登録者はいるのか。」

申請者「来年度からの新しい取組みのため、まだ実施はしていない。」

委員「イベント開催等を発信するのか。」

申請者「イベントに加え、科学館のサポーター制度についての募集や連絡も行いたい。今のサポーターについては、館長が個別に直接メールでやり取りをしている。」

委員「申請書にある設置目的を達成するためのモニタリングの方策について、“内部評価”や“お客様による評価”等を挙げられているが、それらの意見を生かしていくサイクルについての記載がなく、次への修正につながらないように感じる。P.17 にあるようなお客様のニーズの把握と反省ではなく、例えば科学館での教育がどの程度子供達に理解されているのか等の結果によって、次の取組み内容が変わってくると思う。申請書には評価項目のみが記載されていたため、評価された内容を次の改善にうまく回せる仕組みがあるとよいと思う。」

申請者「参考にしたい。」

(4) 総合評価

基本項目評価に関する失格は無く、総合評価点は、2,800 点満点中、2,332 点を獲得した。

5 議決事項

公益財団法人 熊本市上下水道サービス公社を指定管理者候補者として選定する。

【選定結果】

申請団体	(公財)熊本市上下水道サービス公社
資格審査	合格
申請価格 単位：円(税抜)	174,000,000
価格審査の得点	560
項目審査の得点	1,772
総合評価の得点	2,332

2,800 点満点 (400 点×選定委員 7 人)